

第7号様式 (規程別表第1 第2項第2号エ関係)

出張報告書



令和 6 年 4 月 30 日

尼崎市議会議長 様

会 派 名 無所属

代表者氏名 池田 りな

出張者氏名 池田 りな

このたび、出張しましたので、次のとおり報告します。

1 出張期間 令和 6 年 4 月 23 日～26 日 4 日間

2 結果の概要

用務先 渋谷区 品川区 中野区 横須賀市	報告事項 (この欄には要点を簡条書きにし詳細事項がある場合は別紙添付) 一般社団法人渋谷未来デザイン視察、渋谷区子育てネウボラ視察 森澤恭子品川区長 勉強会 一般社団法人sukasuka-ippo視察 特定非常利活動法人 翔和学園視察、神奈川県教育委員会 勉強会 とうきょう若者ヘルスサポート (わかさぽ) 視察 独立行政法人 国立特別支援教育総合研究所 視察
添付書類 ☐ 出張報告書 ☐ ☐ ☐	備 考

3 届出事項の変更等 ☒ なし ☐ あり (内容は裏面に記載)

旅 費 の 精 算

- ☒ 精算額は、令和 6 年 4 月 16 日届け出た額 (~~73,640~~ 73,460) と同一額である。
- ☐ 届出事項の変更等により、別途精算する。(精算額は裏面に記載)

(裏面)

届出事項の変更等の内容

変更等の事項と理由

支 出 額	
精 算 額	
支出 差引 額 戻入	

変更前と後の日程

月	日	日	日	日	日	日	日
前							
発着地							
後							
前							
経 路							
後							
前							
用務先							
後							
前							
宿泊先							
後							

尼崎市議会 超党派 行政視察 行程表

4/15作成 池田議員

月日	行程	備考
4月23日 (火)	新大阪 9:06発 のぞみ4号 (JR山手線外回り約13分) (徒歩約10分) 品川駅 渋谷駅 12:39着 渋谷未来デザイン&渋谷区子育てネウボラ 視察 13:00～17:00 渋谷PARCOにて (徒歩約10分) (東急東横線約30分) 渋谷駅 横浜駅(泊) 18:00着 17:30発 〒150-8377 渋谷未来デザイン&渋谷区子育てネウボラ 会場：東京都渋谷区宇田川町15番1号 渋谷ベルコ9F	
4月24日 (水)	(JR京浜東北・根岸線約27分) (東急大井町線約3分) (徒歩約10分) 横浜駅 大井町駅 戸越公園駅 9:16発 8:40発 9:07着 (徒歩約10分) (東急大井町線約3分) 森澤恭子品川区長講演会 戸越公園駅 (昼食) 9:45～12:00 エコルとごしにて (JR京浜東北・根岸線約26分) (京急本線約37分) 大井町駅 横浜駅 京急久里浜駅 14:36着 13:23着 13:29発 13:55着 (徒歩約2分) (京急久里浜線約35分) インクルーシブ学童 視察 京急久里浜駅 15:00～17:00 横浜駅(泊) 17:53着 〒142-0042 森澤恭子品川区長講演会 会場：東京都品川区豊町2丁目1-30 エコルとごし 〒239-0831 インクルーシブ学童 sukasuka-kids 横須賀市久里浜4-14-6 久里浜商店街内 TEL:070-4446-3118 (担当:五木氏)	<調査事項> ○インクルーシブ学童 ・利用者のニーズについて、健全な子どもへの保護者が障害児との共存を望む理由 ・健全児と特別支援が必要な子どもとの利用者数とその割合 ・国はインクルーシブ学童の推進を図っているが、民間でのインクルーシブ学童の進展における課題 ほか
4月25日 (木)	(JR湘南新宿ライン約35分) (東京メトロ丸ノ内線約4分) 横浜駅 新宿駅 中野坂上駅	<調査事項> ○翔和学園 ・ギブアップ教育について

4月26日 (金)	8:53着 (徒歩約2分) —— 翔和学園 視察 9:20～11:00 8:18発 (東京メトロ丸ノ内線約13分) 12:06発 (JR京浜東北・根岸線約5分) 9:05発 (徒歩約2分) 中野坂上駅(昼食) (東京メトロ銀座線約5分) 9:09着 (JR東海道本線約21分) 12:19着 赤坂見附駅 12:20発 新橋駅 12:25着 横浜駅 12:30発 関内駅 12:51着 12:55発 13:00着 (徒歩約5分) (徒歩約10分) 超党派合流 —— 神奈川県庁(新庁舎) 視察 日本大通り駅 13:30～15:00 (みなとみらい線約38分) (徒歩約12分) —— 渋谷駅(夕食) わかさぼ 視察 渋谷駅16:05着 19:00～20:00 渋谷BLDGにて (JR湘南新宿ライン約42分) —— 戸塚駅 21:07着 21:11発 21:43着 〒164-0011 NPO法人 翔和学園 東京都中野区中央1-38-1 アクロスシティ中野坂上ビル2F TEL: 03-5338-0338 (担当: 片山氏) 〒231-8588 神奈川県庁 神奈川県横浜市中区日本大通1 TEL 045-210-7564 (担当: 相馬氏) 〒150-0002 とうきょう若者へルス サポート(わかさぼ) 会場: 東京都渋谷区渋谷二丁目2-17 TranceWORKS青山ビル TEL: 03-5320-7111 (担当: 東京都議 会事務局)
4月26日 (金)	ホテル 発 京急久里浜駅 9:21着 (徒歩約1分) 10:00～12:00 (京急バス約20分) 横須賀駅 9:02発 (京急バス約12分) 国立特別支援教育総合研究所 9:32着 国立特別支援教育総合研究所 視察 10:00～12:00 (京急バス約20分) 久里浜駅 9:13着 (京急バス約12分) 国立特別支援教育総合研究所 9:44着 (JR横須賀線約10分) 9:15発 (徒歩約10分) (京急久里浜線約40分) (JR横浜線約15分) 〒164-0011 NPO法人 翔和学園 東京都中野区中央1-38-1 アクロスシティ中野坂上ビル2F TEL: 03-5338-0338 (担当: 片山氏) 〒231-8588 神奈川県庁 神奈川県横浜市中区日本大通1 TEL 045-210-7564 (担当: 相馬氏) 〒150-0002 とうきょう若者へルス サポート(わかさぼ) 会場: 東京都渋谷区渋谷二丁目2-17 TranceWORKS青山ビル TEL: 03-5320-7111 (担当: 東京都議 会事務局)
神奈川県庁 ○フルインクルーシブ教育に向けた取り組みについて ・フルインクルーシブ教育に向けた取り組みに至るまでの経緯・理由 ・これまでの取り組みや課題 ・県としての役割 ・教員の配置方法	<調査事項> ・研究所概要説明 ・諸外国におけるインクルーシブ教育システムに関する動向について ・施設見学(あしたの教室、iライブラリー、発達センター展示室)

	野比海岸 12:29発 京急久里浜駅 12:46着 新横浜駅 14:48着 横浜駅 (昼食) 12:53発 のぞみ397号 新大阪駅 14:58発 13:30着 14:35発 17:06着	〒239-8585 神奈川県横浜須賀野比5丁目1番1号 独立行政法人 国立特別支援教育総合研究所 TEL. 046-839-6803 (担当:大藤氏)
--	--	--

出張報告書

尼崎市議会議員 池田 りな

渋谷区のダイバーシティ・インクルージョンのまちづくりについて

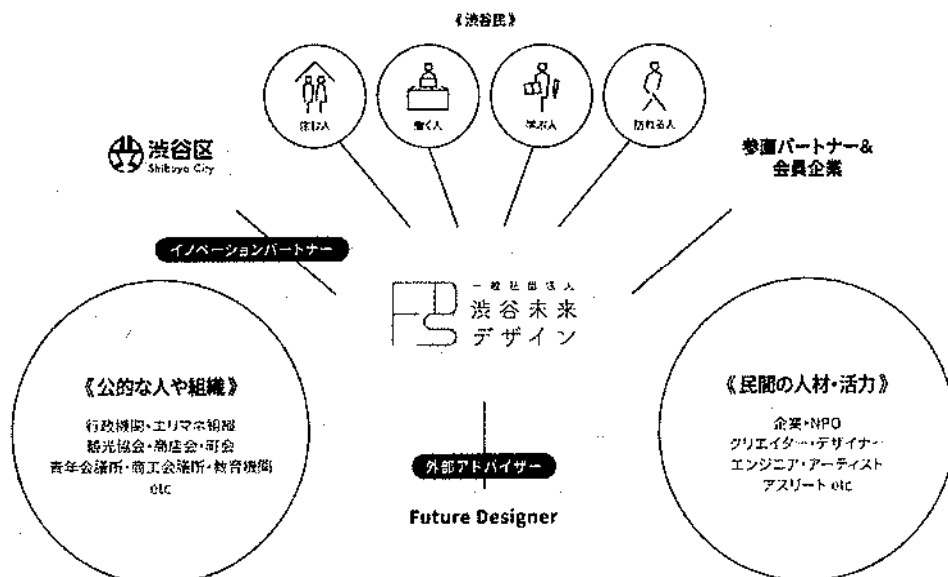
日程:2024年4月23日(火) 13時~15時

場所:東京都渋谷区 一般社団法人「渋谷未来デザイン」

【概要】

一般社団法人 渋谷未来デザインは、ダイバーシティとインクルージョンを基本に、渋谷に住む人、働く人、学ぶ人、訪れる人など、渋谷に集う多様な人々のアイデアや才能の領域を越えて収集し、オープンイノベーションにより社会的課題の解決策と可能性をデザインする本格的な産官学民連携組織です。オープンイノベーションとは、自社内だけでなく業種を問わず外部の人材と連携することで、社内にはない考え方・知見を取り入れることを指します。

これからの街づくり、これからの渋谷区。



「ちがいを ちからに 変える街。渋谷区」

一般社団法人渋谷未来デザインは
多様なあふれる未来に向けた世界最前線の実験都市「渋谷区」をつくるため
渋谷に集う多様な人々のアイデアや才能を、領域を越えて収集し
オープンイノベーションにより社会的課題の解決策と可能性をデザインする
産官学民連携組織として2018年に設立されました。

『Create Culture, Drive Diversity & Social Innovation.』をキーワードとし
多様な個性・価値観を原動力に、新しいカルチャーの創発と
ソーシャルイノベーションを起こすことで、都市の可能性を拡張し続けます。

参照:渋谷区未来デザイン HP <https://fds.or.jp/>

勉強会では、一般社団法人未来デザインの理事兼事務局長、長田新子氏より、渋谷未来デザインの取組事例などについてご講演いただきました。市民・企業・行政が連携し、渋谷区の課題を解決しているお話をお聞きました。

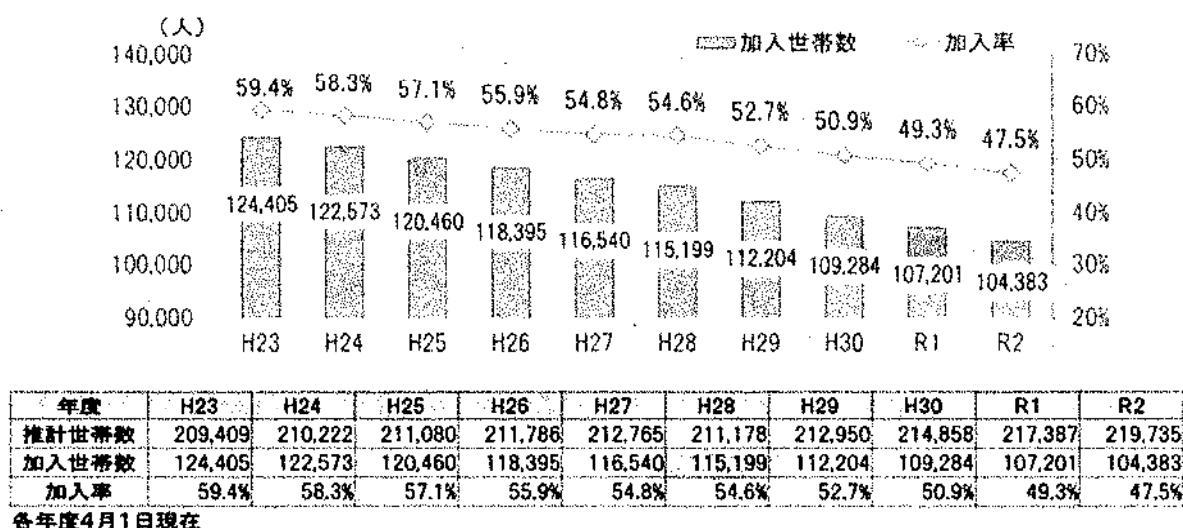
勉強会で特筆すべきことと、尼崎市に活かしたいことを3点挙げます。

1 点目、地区単位と各テーマに関心がある人々を単位とするまちづくりを進めていくことです。地区単位のまちづくりでは、小学校避難所お泊り体験など、地元密着型の防災イベントなどを開催されています。町会・自治会は全国どこでも加入者が減少しているという課題があります。尼崎市の社会福祉協議会(町会・自治会)加入率は、令和2年度で47.5%です。

3. 地域の担い手の状況

(1) 自治会等の状況(加入率と加入世帯数の推移)

- 尼崎市社会福祉協議会(自治会・町会)の加入率については、平成23年の59.4%から令和2年には47.5%と、10年間で11.9%減少しています。
- 加入世帯数についても、平成23年の124,405世帯から令和2年には104,383世帯と、10年間で20,022世帯減少しています。



(参考)令和2年度 地区別の状況							令和2年4月1日現在
	中央	小田	大庄	立花	武庫	園田	計
推計世帯数	27,005	35,408	24,704	51,801	35,011	45,806	219,735
加入世帯数	14,147	18,860	17,709	23,969	9,745	19,953	104,383
加入率	52.4%	53.3%	71.7%	46.3%	27.8%	43.6%	47.5%

資料:尼崎市社会福祉協議会資料(R2)

参照:あまがさきし地域福祉計画(資料編)-尼崎市 令和4年3月 p15

https://www.city.amagasaki.hyogo.jp/_res/projects/default_project/_page/001/030/118/shiryou-.pdf

テーマごとのまちづくりの一例として、渋谷区未来デザインが取り組む、女性が心身ともに健やかに自分らしく生きられる社会の実現を目指す「Women's Wellness Action from Shibuya」という事業が紹介されました。この事例は、女性の心身の健康課題の解決、啓発を目的にしています。このテーマに関心のある渋谷区民や渋谷に関わる人々が関わっているとのこと。女性の健康課題がテーマであるため、区とし

ても区民の心身の健康を守ることは重要な役割であり、生理痛・更年期障害・産前産後の心身の変化などに関わる年齢層も幅広いです。今までまちづくりに関わってこなかった新しい人を巻き込むことが可能です。

尼崎市でも、協働推進課が管轄する市民提案制度があります。市民提案制度では、行政と民間が協働で市の課題を解決できる事業を実施しています。市民提案制度の認知度を向上させ、官民連携の事業をつくり、その事業を通じてまちづくりに関わる人を増やせると考えています。

2点目、新しい発想や視点で社会をより良い方向に導くアイデアやクリエイティブアクションを表彰するプロジェクト「NOVOUS FUTURE DESIGN AWARD」を行っていることです。

事例として、2022年に優秀賞に選ばれた「未来創造部」、似た夢を持つクリエイティブな中高生が世界から集まり、アイデアを出して形にする場所で、学生と社会が手を組み未来を創る「部活型」オンラインコミュニティについても紹介がありました。この事業に関わっている方が、「NOVOUS FUTURE DESIGN AWARD」のアワードに選ばれる学生は「探求学習」を受けて育った子が多いとおっしゃっていました。探求学習は、知識を教え込む一方通行型の授業ではなく、自ら問を立ててそれに対して答えていく学習です。

渋谷区では、2024年度より全国初となる小学校からの「探求」の授業が始まっています。これは、世界で活躍する自立した学習者を育むシブヤモデル「未来の学校」を目指して、文部科学省の「授業時数特例校制度」を活用し、区内の全区立小中学校で総合的な学習の時間「シブヤ未来科」を中心とした「探究学習」に取り組んでいます。

一方、尼崎市ではオルターナティブスクールやぐるりミライスクールさんが「探求」の時間を設けています。私がスクール見学に行った際には、子どもたちがテーマを決めて、興味のあることに没頭していました。

オルターナティブスクールは、「新しい選択肢の学校」です。はっきりした定義はありませんが、現在の公教育（公立学校や私立学校）とは異なる、独自の教育理念・方針により運営されている学校の総称で、フリースクールなども含まれます。

ただし、尼崎市の公立小中学校においては、全ての子どもたちが探求の時間を持つことが理想ですが、教員不足が叫ばれる中、現時点での実現は難しいと考えられます。国の動向にも引き続き注目していく必要があります。

グローバル社会で活躍する自律した学習者をはぐくむ シブヤモデル「未来の学校」



探究「シブヤ未来科」スタート!

ICT×探究 + 地域×企業



学校の1日の流れの例(令和6年度)

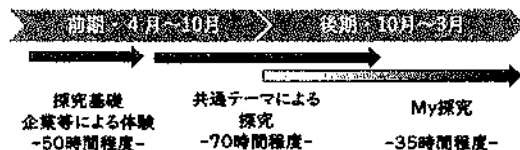
中学校は、時間講師の関係で、午後の探究時間に変更もあります。

月～金

午前 1～4校時	教科を中心とした授業 国語・社会・算数・数学・理科など
午後 5～6校時	探究 主として「シブヤ未来科」の時間 ～子ども主体の学び～ 総合的な学習の時間、道徳、特別活動等

探究の1年の流れの例(令和6年度)

例:小学校6年生 総合的な学習の時間の年間授業時数155時間



前期(～夏休み)は、各教科の見方・考え方に基いた探究の進め方やスキルを学びます。また、渋谷区や各学校と関連のある地域の方や企業等とコラボして魅力ある体験活動を経験することで、「すごいな」「驚いた」「不思議だな」「なぜだろう」といった子どもたちの感動、発見、疑問を「問い」につなげます。

夏休み明け以降は、学校が定めた共通テーマによる探究や、子ども一人一人が立てた「問い」を探究していくMy探究を通して情報収集や整理・分析、まとめ・表現の力を高めていきます。最終的にはMy探究の時間を増やしていきます。

先生が教える授業から、子どもが学びを創る授業へ!
シブヤ未来科で『探究』の時間が充実します!

未来に求められる3つの能力

時代とともに学び方や学校の役割も変化していきます。

渋谷区では「自ら考え判断して学び続けていく自己調整力」「多様な仲間と協働して新たな価値を生み出す創造力」「自分が思い描く未来を実現していく挑戦力」の育成に重点をおき、個別最適な学び、協働的な学び、そして探究的な学びを重視して、シブヤモデル「未来の学校」に向けた新しい教育を進めています。

「探究」することで、教科での学びを本当の学力へ

探究的な学びを充実させるのが、「シブヤ未来科」の探究の時間です。教科の学習で培った見方や考え方・スキルは、日常生活や社会の事象を考察する場面において生かされなくては本当の学力として身につけません。「シブヤ未来科」の探究の時間は、それを最大限に生かす時間です。

他者と協働的に問題を解決したり、問題解決の過程を自ら振り返ったり、方法や手順を明確に記述したり伝え合ったりする探究活動は、従来の教科等の学習の中でもありましたが、「シブヤ未来科」の探究の時間を通して、グローバルな視野をもった主体的な探究活動を充実させ、生きて働く本物の学力を身に付けていきます。

■文部科学省 授業時数特例校制度 を活用します!

令和6年度は、文部科学省「授業時数特例校制度」を区立全小・中学校で申請・活用します。国語や算数・数学など、各教科※1の授業時数の一部(1割)を総合的な学習の時間に上乗せすることで、探究の核となる総合的な学習の時間の充実を図ります。

※1 学習指導要領に定められた各教科で学ぶ内容は変わりません(減りません)。

また、音楽(中学校第2,3学年)、美術(中学校第2,3学年)、技術・家庭、特別の教科 道徳、外国語活動、特別活動の授業時数は、制度の規定により、総合的な学習の時間への上乗せはしません。

令和5年度
令和6年度
令和7年度

参照: PowerPoint プレゼンテーション (schoolweb.ne.jp)

さらに、3点目として、2020年に立ち上げられた国内初の自治体公認の都市連動型メタバース(仮想空間)「バーチャル渋谷」が挙げられます。メタバースは、インターネット上に構成される3次元の世界で、私たちは自分の分身であるアバターを通じてその世界に入ります。この空間では、性別や見た目にとらわれずに自分自身の分身となることができ、さまざまなコミュニケーション手段が利用できます。

このプロジェクトは、コロナ禍で来訪者が途絶える中、渋谷の魅力を広く知ってもらうため、ハロウィーンフェスなどの大規模なバーチャルイベントを開催しました。また、感染対策で活躍の場を失ったアーティストのためにバーチャルライブハウスを設ける試みも行っています。

2023年11月からは、不登校の小中学生が集まり、交流する渋谷区の「けやき教室」(教育支援センター)のメタバース版が開設されました。不登校児童・生徒の居場所と学びの提供としても活用され始めています。

尼崎市においても、不登校児童・生徒の子どもたちに市が公式に案内できるメタバース空間やそれを活用した支援プログラムを提供できないか、引き続き他市の取り組みを研究します。

誰一人取り残さないためのデジタル空間～バーチャルけやき～

渋谷区は東京都のバーチャル・ラーニング・プラットフォーム（VLP）（※1）事業と連携し、令和5年秋から、けやき教室（相談指導教室）を仮想空間で体験できる「バーチャルけやき」を始めました。「バーチャルけやき」では、3Dメタバース空間（※2）上で自分の好きなアバターを選び、メッセージやボイスチャット、様々なアクションでコミュニケーションを取ることができます。子供たちはアバター（※3）を操って、けやき教室の指導員に質問したり、心理士のカウンセリングを受けたりすることができます。また、学習ドリルやプログラミングの学習コンテンツを利用することもできます。

- ・けやき教室に行かない日に先生や友達と話したい
- ・けやき教室に入室していないけれど、仮想空間なら参加してみたい
- ・外に出られないけれど、安全な空間で誰かとコミュニケーションを取りたい

顔が見えないアバター同士だからこそ、コミュニケーションがしやすいこともあるかもしれません。安心していただける居場所を見つけられる児童・生徒が一人でも増えてくれることを願い、イベントやプログラムを企画していきます。

（※1）バーチャル・ラーニング・プラットフォーム（VLP）：仮想空間を活用した居場所や学びの場

（※2）メタバース空間：インターネット上の仮想空間のこと

（※3）アバター：仮想空間の中に存在する子供たちの分身のこと



▲「バーチャルけやき」内の様子

◎ 教育センター 教育相談係 ☎ 3463-3491

参照:渋谷の教育 No132 p6

https://files.city.shibuya.tokyo.jp/assets/12995aba8b194961be709ba879857f70/e73d03229d9840fdb125fca3fe71d7fd/114_shibuyanokyoiku132.pdf

渋谷区の子育て支援拠点「ネウボラ」について

日程:2024年4月23日(火) 15時～17時

場所:東京都渋谷区「渋谷子育てネウボラ」

【概要】

2021年8月開設、渋谷区子育てネウボラ(こども家庭センター機能を含む)は、「出会う、集う、語る、つながる。」「地域みんなで子どもを育てる。」をコンセプトとした子育て拠点施設です。こども家庭センターでは、これまで別々の組織であった「母子保健」と「児童福祉」を一体化し、全ての妊産婦、子育て世帯、こどもを切れ目なく支援していま

す。ネウボラはフィンランド発祥で、フィンランド語で相談の場・アドバイスの場の意味を指します。

渋谷区ネウボラの施設には、子ども家庭支援センター・子ども発達相談センター・教育センター・保健相談所・子育てひろば・カフェが入っています。

フロアガイド

Rf 屋上庭園

8F 子ども家庭支援センター

7F 子ども発達相談センター

6F 教育センター 教育相談・就学相談
中央保健相談所 X線検査室

5F 中央保健相談所 健診受付/講堂

4F 中央保健相談所
事務室/栄養指導室/歯科保健室

3F coしぶや/子育てひろば

2F coしぶや/
カフェ・アトリエ・プレイGROUND

1F エントランス

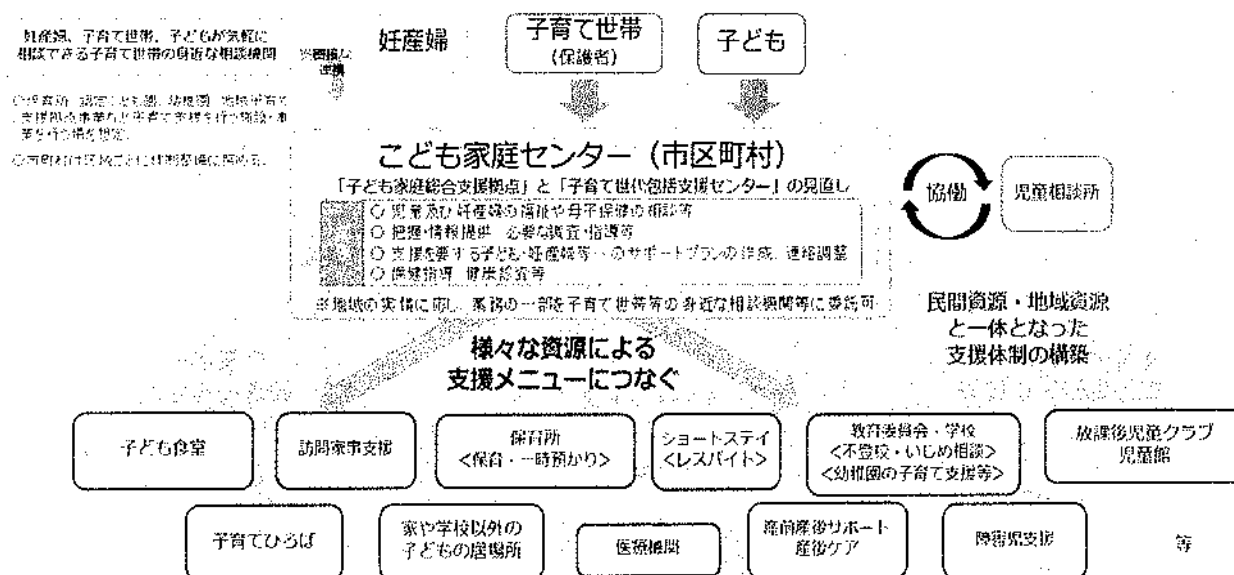


参照:こども家庭センターについて 令和5年8月3日 p4

<https://www.mhlw.go.jp/content/11907000/001127396.pdf>

対応2 相談支援機能の一体化(こども家庭センター)

- ・ 子育て家庭総合支援拠点と子育て世代包括支援センターの「連携」からより一歩前へ。
- ・ こども家庭センターとして、地域の関係主体とつながりながら、サポートプランの作成や
勧奨・措置を使いながら子育て家庭をマネジメント。



4

渋谷区のネウボラは、2019年10月開設した尼崎市のいくしあ(こどもの育ち支援センター)と同様の子育て支援拠点としての役割を果たしており、お互い情報交換をしていると渋谷区の担当者からもお聞きしました。いくしあでは、保健所・子ども家庭部・教育委員会など、子育てに関わる事業を総合に連携しながら支援してきた各部署が1か所に集約されています。

「いくしあ」の特徴

子育てのパートナー

0歳からおおむね18歳の
子どもが主体となる支援

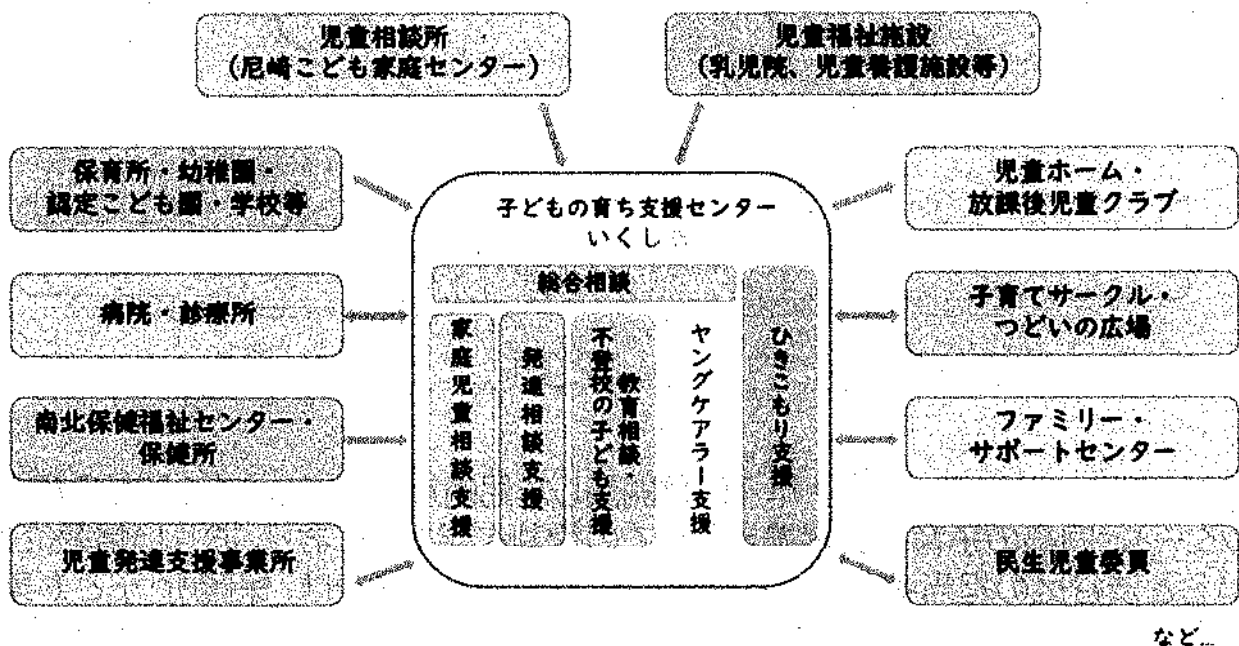
子どもの成長に

子どもの年齢に応じた
切れ目なく継続的な支援

福祉の連携

福祉、保健、教育などが
連携した総合的な支援

「いくしあ」の相談支援について

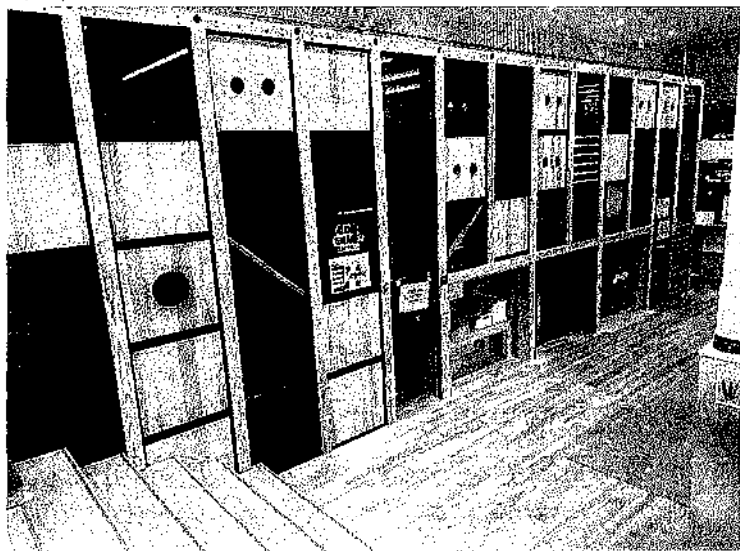


総合相談窓口へご相談いただいた内容で、より専門的・継続的に支援が必要な場合、「いくしあ」内外の専門機関と連携をして支援を行っております。

参照: 尼崎市 HP <https://www.city.amagasaki.hyogo.jp/kosodate-kyoiku/kodomo-ansin/1016009/1018129/index.html>

視察で特筆すべきこと、尼崎市に活かしたいことを2点あげます。1点目は、渋谷区ネウボラは、子育て相談にくるハードルが低いことです。渋谷区ネウボラの施設内には、「渋谷区神南ネウボラ子育て支援センター」があります。子育て中の親子が1日ゆっくり過ごせる遊び場や多世代カフェがあります。子どもの一時預かりも実施しています。自治体の窓口相談へいくハードルが高い保護者も多いので、支援センターに日頃から親しみ、遊びにきたついでに相談ができます。

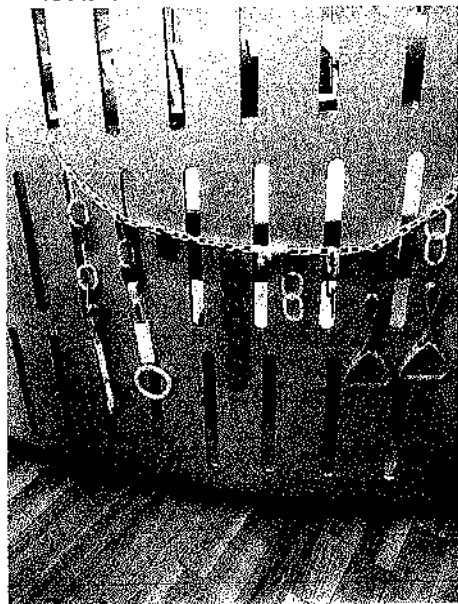
○木のジャングルジム



○子育て中の保護者の口コミが書かれたみんなで作ろうしぐや MAP



OS-SAP 協定(区内に拠点を置く企業や大学などと区が協議して、地域の社会的課題を解決していくための協定)企業から提供された廃材でつくった子どものおもちゃ。



尼崎市がいくしあの施設内で、渋谷区ネウボラのように、カフェスペースを作るのは予算やスペースの面でも難しいですが、遊び場がもう少し充実できるのではないかと考えます。いくしあは、「駅から遠く利便性が悪いので気軽に子育て相談にはいけない」と子育て世代からご意見をいただいています。

また、いくしあの認知度向上が必要だと常々考えています。認知度を施策の1つとして、「尼崎版ネウボラ いくしあ」などネウボラという言葉を入れることを市に提案しています。

2点目は、渋谷区の妊娠期からお母さんに寄り添う取り組みです。まず、保健師が16週から32週の妊婦の区民を対象に、妊娠・出産・子育てを一緒に考える「妊婦面接」を実施しています。常勤保健師が相談対応し、継続した支援を行っています。妊娠中に保健師と相談関係を築き、必要なサービスを紹介することで安心して出産に臨むことができます。保健師は出産後も継続した相談者になり、育児不安が解消されます。

尼崎市では、全員対象の妊婦面接は行っていません。母子手帳を受け取ったときに、保健師さんと面談がありますが、「何を相談したらいいかわからなかった」「保活のこともそこで教えてほしかった」などといった当事者からの声をいただいています。母子手帳を渡すタイミングが全員の妊婦と直接会える機会なので、この機会を逃さないことが重要です。尼崎市において、妊婦面談で妊婦さんがほしい情報を提供できるよう提案していきます。

次に、渋谷区では妊婦面接を受けると、育児パッケージ(育児に必要なギフト詰め合わせ)がプレゼントされます。渋谷区のように、母子手帳交付後とは別に妊婦面接を行った妊婦へ育児ギフトのプレゼントをしている自治体が増えてきていますが、尼崎市では行っていません。市内の出産経験があるお母さんたちからは「市が出産を祝ってくれると嬉しい。妊婦相談をしてプレゼントがもらえるのであれば、相談してみようか」という気持ちになる。神戸市の「こべっこ ウェルカムプレゼント」のような地場産業も貰える育児ギフトセットをつくってはどうか」などご意見もいただいています。



こべっこ ウェルカムプレゼント WELCOME PRESENT FROM KOBE

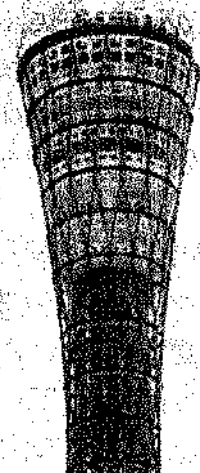
こうへうまれの喜びに
こうへうまれの喜びを

赤ちゃんのご誕生、おめでとうございます。
ご家族のみならずに心から歓迎申し上げます。

神戸で生まれた赤ちゃんを神戸が育むもので歓迎したい。
「こべっこ ウェルカムプレゼント」は、そんな思いからうまれました。
赤ちゃんの笑顔は誰人とうかがいがたないもの。
これからは、このまちで子育てのみなさんと赤ちゃんが、
いつまでも笑顔あふれる日々をすごされることを心よりお祈りしております。

神戸市

ENTER



参照:こべっこウェルカムプレゼントHP
<https://kobecco.jp/html/page3.html>

費用がかかることなので、尼崎市で渋谷区のような妊婦へのギフトプレゼント実施は難しいですが、市内の企業を募れば、広報でプレゼントをしてくれるところがあるのではないかと個人的には考えています。

視察に参加していた他自治体議員からは、尼崎市の取り組みについて3点質問をいただきました。

1つ目は、いくしあがある「あまがさき・ひと咲プラザ」の中に、子育て支援拠点「いくしあ」とユース交流センターがあることです。ユースセンターは学校でも家でもない若者たちの第3の居場所です。ユースセンターがない自治体は多く、あまがさき・ひと咲プラザ敷地内に子育て支援拠点の「いくしあ」とユースセンターの両方があることが、他市からも注目されています。

2つ目は、ユース交流センターに、若年層が心身のことを相談できる「尼崎ユース保健室」が開設されていることです。あまがさきユース保健室以外にも、子ども・若者応援補助金に採択された女将ラボが行う「ヌック」、一般社団法人えんぐらぶが行う「尼崎ユースクリニック」があります。

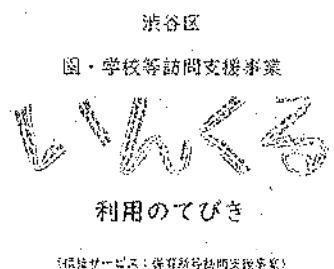
3つ目は、令和5年度尼崎市がこども家庭庁のこどもデータ連携実証事業の検証に係る調査研究の実証事業採択団体に認定され、情報管理の一元化を行っていることです。これにより、個々のこどもや家庭の状況や利用している支援等に関する教育・保健・福祉などの情報・データ分野を超えて連携させることを通じて、個人情報情報の適正な取扱いを確保しながら、潜在的に支援が必要なこどもや家庭を把握し、プッシュ型・アウトリーチ型の支援につなげる実証事業を実施しています。

尼崎市にいと他市と比べてできていないことばかりに目がいいますが、尼崎市の「あまがさき・ひと咲きプラザ」を拠点とした、子ども子育て支援の取り組みは「尼崎モデル」として私自身も市内外に発信していきます。

3点目は、発達に関して、就学前と就学後の連携をスムーズにするための渋谷区 園・学校等訪問支援事業「いんくる」(保育所等訪問支援事業)についてです。保育所等訪問支援事業は、障がいのある子どもが保育所や学校などで集団生活を送るための支援をおこなう福祉サービスで、同事業は児童福祉法に基づく福祉サービスです。

児童発達事業所や放課後等デイサービスに通うように受給者証の申請やケアプラン作成が必要となります。このサービスは、専門知識を持った支援員が保育所や学校、放課後児童クラブ(学童)などの「集団生活の場」に訪問し、子どもの様子を観察し、どのようなことに困っているのか、その原因はなにかを分析します。そして、どうすれば困らなくて済むようになるかを考え、子どもが楽しく快適に過ごせるように支援します。

渋谷区では、区が民間業者に委託して、保育所等訪問支援事業「いんくる」を行っています。渋谷区が行うことにより、保護者も利用しやすく、訪問される側の施設(保育園・幼稚園学童など)も受け入れやすいと聞きました。尼崎市が行う、保育所等訪問支援事業はありませんが、令和6年5月時点で市内に8か所の施設があります。



尼崎市では、「施設支援事業」という名称で発達に不安を抱える子どもを対象に、発達相談支援担当の専門職が学校園や保育所などの施設を訪問し、その子どもにとってより良い環境を整えるための助言等の支援を行っています。今後も他市の事例を研究し、本事業の認知度拡大に努めていくことが重要です。

参照: 園・学校等訪問支援事業「いんくる」(福祉サービス: 保育所等訪問支援) 子ども発達相談センター | 各種子育て支援施設 | 渋谷区ポータル
(city.shibuya.tokyo.jp)

政策実現のカギをさぐる-森澤恭子品川区長講演会

日程:2024年4月24日(水) 9時45分~12時

場所:東京都品川区

【概要】

2022年12月就任された、森澤恭子品川区長の講演会に参加しました。お話をお聞きして、特筆すべき点を3つ述べます。1つ目は、区長選挙の際、どこからも推薦公認を受けなかった無所属だからこそ、本当にやりたい政策が実現できると述べられていたことです。選挙でどの政党が推薦・公認するか、誰に応援してもらったかが、首長当選後の政策実現に大きく影響することは言うまでもありません。

予算編成に際し、全665事業の事務事業評価を実施し、一般会計予算の1%にあたる20億円の財源を捻出、全区民アンケートから区民ニーズを分析されたと森澤区長より説明がありました。財源を生み出すには、廃止する事業が当然あります。具体的に何を廃止し、その資金が何に使われるのかを示すことで、区民の理解を得られたとも述べられました。

2点目は、森澤区長が実現した子ども子育て事業です。子育て世代待望の所得制限を撤廃した3つの無償化(0歳~2歳、第2子保育料無償、区立学校の学校給食無償、高校生までの医療費無償)です。本来は国が進めるものですが、現在は自治体ごとに異なり、東京都23区内でも状況が異なります。首長がこの財源をどう捻出し、早急に実施するかが子育て世代からの支持を得る鍵と考えます。東京都とは財政規模が異なるため、尼崎市と単純に比較することはできませんが、尼崎市の状況と要望を述べます。

まずは、0歳~2歳の保育料についてです。保育料は世帯年収によって変動しますので、共働き世帯の保育料は高額になることがあります。0-2歳の保育料を無償化する自治体も増えてきており、大阪市では令和8年度から無償化を発表しました。尼崎市では、令和6年度から、阪神間他都市と比較して高額となっている保育料区分の保育料を阪神間他都市水準以下に引き下げましたが、負担は依然として大きいです。

第2子以降の保育料については、年齢の高い順に数えて、2人目の保育料は半額、3人目以降の保育料は無料になります。私の元にも保育料無償化に関する多くの要望が寄せられていますので、引き続き市に要望していきます。

次に、学校給食無償化についてです。尼崎市の公立小・中学校の給食費は年間で、小学校が4万3,920円、中学校が5万6,730円です。2人、3人と子供がいたら、なおさら家計に大きな負担になります。近隣の伊丹市では、令和6年度から中学校給食を無償化しました。

最後に、子ども医療費無償化です。尼崎市では通院対象が中学生までであり、小学生以上は自己負担が発生するので、これを無償化してほしいという要望が多く寄せられ

ています。松本市長が、子ども子育てアクションプランにおいて、令和8年までに医療費無償化の拡充を発表していますので、引き続き要望します。

乳幼児等医療費助成制度の拡充

市内に居住する子どもを対象に、国保又は社保による医療費のうち自己負担分を助成していますが、子育て世帯へのさらなる支援の充実のため、次のとおり制度を拡充します。

- ・ 外来にかかる医療費について、1歳から就学前児の市民税所得割額23万5千円以上の一部自己負担金があった方に対して、無料（自己負担金なし）とします。

～R5. 6（現行）					R5. 7～（拡充後）						
		通 院			入 院		通 院		入 院		
		対 象 外					対 象 外				
年齢	医療機関	高校3年	自己負担 4,000円			自己負担 なし	高校3年	自己負担 4,000円			自己負担 なし
		高校1年									
		中学3年									
		中学1年	自己負担 8,000円				中学1年	自己負担 8,000円			
		小学6年	自己負担 なし				小学6年	自己負担 なし			
小学4年	自己負担 なし			小学4年	自己負担 なし						
小学3年	自己負担 なし			小学3年	自己負担 なし						
乳幼児等医療	就学後	自己負担 なし			自己負担 なし	就学後	自己負担 なし			自己負担 なし	
	就学前	自己負担 なし				就学前	自己負担 なし				
	1歳	自己負担 なし				1歳	自己負担 なし				
0歳	自己負担 なし			0歳	自己負担 なし						
所得区分		低所得者	所得割額 23万5千円 未満	所得割額 23万5千円 以上	全て （区分なし）	低所得者		所得割額 23万5千円 未満	所得割額 23万5千円 以上	全て （区分なし）	

…県の現行制度から市独自で上乗せしている部分

…R5 から新たに市独自で実施する部分

※自己負担の金額は、1医療機関等あたり1日の上限金額で、月2回までの負担

※所得割額は、保護者と扶養義務者の合計で算出

※低所得者とは、保護者と扶養義務者のいずれもが非課税で年金収入を加えた所得が80万円以下

森澤区長は他にも、2023年より0歳児見守り・子育てサポート事業を始めました。

「見守りおむつ定期便」満1歳まで月1回程度、見守り支援員が訪問し、赤ちゃんと養育者の方の見守りを行い、お会いできた時には、おむつ等の育児用品を渡しています。

孤育て世帯や虐待防止にも繋がるので、私が尼崎市でも導入したいと常々思う事業です。

3 点目は、森澤区長が発表した「ウェルビーイング予算」です。ウェルビーイングは、個人や社会のよい状態。世界保健機関(WHO)は、「Health Promotion Glossary of Term 2021」において、健康と同じように日常生活の一要素であり、社会的、経済的、環境的な状況によって決定される」と紹介しています。

森澤区長は、ウェルビーイング予算として、人の不安や不満などを解消し、多様なニーズに応じた選択肢、幸福を感じられる施策を盛り込みました。2019 年、ニュージーランドのアーダン前首相が世界で初めて「ウェルビーイング予算」を編成しました。ウェルビーイングは既にグローバルスタンダードとなりつつあり、SDGs の次なるグローバルゴールとも言われています。

尼崎市でも、「学びの多様化学校設置基本方針(素案)」や「尼崎市人権文化いきづまづくり計画 -【令和 3 (2021)年度～令和 12(2030)年度】」において、ウェルビーイングという言葉が登場しています。尼崎市においても、市役所からウェルビーイングという考え方を広めることが重要であると考えます。

インクルーシブ学童について

日程:2024 年 4 月 24 日(水) 15 時～17 時

場所:神奈川県横須賀市 一般社団法人 インクルーシブ学童 sukasuka-kids

【概要】

私がここで使うインクルーシブ学童の定義は、障がいや特性の有無関わらず、放課後子どもたちが放課後同じ場所で過ごせる学童を指しています。

以前、私の元に、お子さんが支援級に通っている保護者から「地域の学校に通っているが、支援級在籍だと放課後ディサービスに通っているので地域の友達と一緒に過ごす時間がほとんどない。障がいを持っている子も遠慮せず預けられる学童があったらいいのに」というご意見をいただいたことがありました。

インクルーシブ学童について調べていくうちに、こちらの障がい児のお母さんたちで立ち上げた sukasuka-kids インクルーシブ学童を見つけ視察にいたりしました。同施設では、障がいのある子もない子も放課後一緒に過ごしています。一般社団法人 sukasuka-ippo が横須賀市久里浜の久里浜商店街の空き店舗を活用して運営するインクルーシブ学童を視察しました。sukasuka-ippo は障がい児のお母さんたちで立ち上げた法人です。

視察では五本木愛代表から創設に至った経緯や活動内容をお聞きしました。『自分たちが足りないと思うこと、欲しいと思うものを自分たちで作っていく！』をモットーにさまざまな事業を展開されています。障がい児を育てる中で、日々の困りごとや将来への不安を感じる場面が沢山あり、「もっと情報が欲しい！」と同じように悩むママたちと、広く情報を共有するために、横須賀のバリアフリー子育て情報サイトを開設されたことが事業のはじまりだったと、五本木代表はおっしゃっていました。

そして障がい児者やその家族が地域で安心して暮らせる環境を整えることを長期的な目標として「一般社団法人 sukasuka-ippo(すかすかいっぽ)」を設立されたとおっしゃっていました。インクルーシブ学童の開設後、地域企業とお母さんを繋ぐ在宅ワーク「よこすかテレワーク」による新しい働き方を進め、障がいがあっても安心して利用できる美容室「SARAH」の運営もされています。

第15 回放課後児童対策に関する専門委員会(令和5年2月8日)とりまとめ案「放課後児童クラブ・児童館等の課題と施策の方向性」－社会保障審議会児童部会放課後児童対策に関する専門委員会 とりまとめ－においても、障がいのある子のインクルージョンの推進があげられています。とりまとめによると、放課後児童クラブにおける障害のある子どもの受け入れ状況は、受け入れクラブ数、登録児童数ともに増加傾向にあり、令和4年5月1日現在、受け入れクラブ数は15,801箇所(59.2%)、登録児童数は53,813人(3.9%)です。特別支援教育を受ける子どもの数が増加しているため、今後も放課後児童クラブでの障がいのある子どもの受け入れは期待されると述べられています。

参照:「放課後児童クラブ・児童館等の課題と施策の方向性」

－社会保障審議会児童部会放課後児童対策に関する専門委員会 とりまとめ－
[001071892.pdf \(mhlw.go.jp\)](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuitei/info/001071892.pdf)

視察で特筆すべき点と、尼崎市に活かしたい点を2点挙げます。1点目は、民間学童で障がい児を受け入れやすい補助金制度です。本市の公立学童(児童ホーム)は職員も少ないので、公立がインクルーシブ学童と打ち出すことは難しいですが、障がいや特性がある子ども受入の補助金制度が拡充することで、民間でインクルーシブ学童ができればと考えています。

尼崎市では、待機児童対策の一環としてできた民間学童に対して補助金を出しています。障がい児受け入れに必要な研修を受講し、又は必要な専門的知識を有する放課後児童支援員等を追加で配置するための経費として、1施設あたり年間2,009,000円の補助金が支給されます。視察したインクルーシブ学童のある横須賀市では、障がい児受け入れに対して、尼崎市と同様の制度に加え、障害児受入特別加算制度・障害児受入強化加算制度があります。本市の民間学童に障がい児を受け入れた場合の課題などを今後ヒアリングしていきます。

2点目は、学習支援事業「learning support」についてです。支援級在籍、または学習への支援が必要な中学1年～3年生を対象にした学習支援事業を行っています。放課後デイサービスは6歳から18歳まで利用できますが、実際の利用者は小学生が多数を占めています。

厚生労働省の「放課後等デイサービスの実態把握及び質に関する調査研究報告書」(令和2年3月みずほ情報総研株式会社)を参照すると、令和元年6月の1ヶ月間における年齢別の実利用者数の平均値は、小学生18.34人、中学生5.15人、高校生等が4.20人です。受給者証は変わらず発行されるにもかかわらず、中高生の利用者数はあわせても小学生の半分程度です。その理由として、中高生向けのプログラムを提供する施設が少ないことがあげられます。中学生対象の放課後デイサービスの見学も今後していきたいです。

日本版ギフテッド教育・2Eについて

日程:2024年4月25日(木) 9時20分～11時

場所:東京都中野区 NPO 法人 翔和学園

【概要】

私は、この報告書において特定分野に特異な才能と同義語でギフテッドの言葉を使用しています。ギフテッドと呼ばれる児童生徒には、才能が突出している場合と発達障がいと高IQの二重に特殊な特性を持つ2E(twice-exceptional)の場合があります。

才能が突出する前者の学びの場は既に多くの教育機関、例えば中学受験の塾などで行われています。一方、2Eタイプの子どもの学びの場はまだ足りていません。私のもとには、「子どものIQが高くて学校の授業がつまらないから子どもが学校に行きたがらない。先取りする塾に行かせて中学受験などできたらいいが経済的に難しい。」といった声が複数寄せられており、今回のNPO法人翔和学園の視察に繋がりました。視察では、伊藤寛晃学園長よりお話をお聞きしました。

同学園には、小中学部、高等部、大学部の3つの部門があります。小中学部はフリースクール、高等部は民間の教育機関として位置づけられ、大学部は18歳以上の支援を必要とする若者向けの障害福祉サービスを提供しています。この学園には、ADHD(注意欠陥・多動性障害)やASD(自閉スペクトラム症)を持つ人々が通っています。

また同学園では2015年からギフテッド教育を始めています。文部科学省は、令和4年(2022年)9月26日 特定分野に特異な才能のある児童生徒に対する 学校における指導・支援の在り方等に関する有識者会議でギフテッド(才能教育)について見解が示されました。同校は、国が才能教育に注目する以前からギフテッド教育に取り組んでこられました。

同校のHPでは、一般的に「ギフテッド(才能が突出している)」「天才的」と思える子ども、その突出した良さを、社会的成功につなげられるかということ、保証はありません。特に日本の社会では、難しい面がたくさんあります。そうした学校で苦しんでいる子どもたちへのアプローチをしていくのが、翔和学園の目的としていると述べられています。同校では、東京都教育委員会後援で、ギフテッドフォーラムも開催されています。



ギフテッド教育の新たな潮流をつくる

すべての子どもたちのための

ギフテッド教育フォーラム

会場 & 終了時間 変更!

スタンダード会議室
JR神田駅徒歩5分

02.18日
(開始) 10:30 受付 10:00
(終了) 14:30
(資料代) 1500円

フォーラムテーマ

解決のカギは「社会脳」

和を重んじる日本特有のハイコンテクスト文化を基盤とした、欧米追従型ではない、日本型のギフテッド教育の在り方について一緒に考えませんか?

託児スペースを設けます。翔和学園の職員が対応をします。会場内飲食可です。

参照:「第3回・ギフテッド教育フォーラム」開催 | 特定非営利活動法人翔和学園のプレスリリース (prtmes.jp)

視察で注目すべき点と尼崎市で活かしたいことを2点述べます。1点目は、2Eタイプの子にも特別支援教育におけるアプローチの必要性です。小学校ではテストの点が高いため、2Eタイプの子どもたちは特別支援教育の対象になりにくい傾向があると保護者と話をしていると感じています。尼崎市においても、2Eタイプの児童生徒への特別支援教育のありかたを検討する必要があります。

2点目は、同校がアカデミックギフテッドクラスをもうけ廃止にしたことです。アカデミックギフテッドクラスは、特別支援教育が従来、生徒の弱み、欠点や苦手を克服しようとするものであったのに対し、生徒の強みや能力の凸を伸ばすことを目指して始められました。

しかし、「後にこのクラスの生徒の中に、クラス外の障害を持つ生徒への差別意識が生じるようになった、また、周りの大人や教育者が「君たちは天才だから」と特別視し、高い知能を伸ばすことに力を入れてしまったこと、また、保護者の中にも、自分の子どもは発達障害ではなくギフテッドだからという考えを持つ人もいた」と伊藤理事長がおっしゃっていました。IQが高い子どもを周囲が特別視せず、個々の子どもに適した教育を提供する必要があると考えます。

3点目は、伊藤学園長がおっしゃっていた、発達障害をニューロダイバーシティとして捉える視点です。経済環境省のHP「ニューロダイバーシティの推進について」では、ニューロダイバーシティ(Neurodiversity、神経多様性)とは、Neuro(脳・神経)とDiversity(多様性)という2つの言葉が組み合わされて生まれた、「脳や神経、それ由来する個人レベルでの様々な特性の違いを多様性と捉えて相互に尊重し、それらの違いを社会の中で活かしていこう」という考え方であり、特に、自閉スペクトラム症、注意欠如・多動症、学習障害といった発達障害において生じる現象を、能力の欠如や優劣ではなく、「人間のゲノムの自然で正常な変異」として捉える概念でもあります。と紹介されています。

私は、発達障がいとは個々の特性であり、障害と否定的に捉えるのではなく、それをポジティブに活かす考え方が必要だと考えます。この概念の普及にも尽力していきます。

▶経済産業省 ニューロダイバーシティの推進について (METI/経済産業省)

神奈川県フルインクルーシブ教育について

日程:2024年4月25日(木) 13時半～15時

場所:神奈川県横浜市 神奈川県教育委員会

【概要】

神奈川県はインクルーシブ教育について新しい取り組みをして、全国から注目を集めています。令和3年3月 神奈川県立総合教育センター 支援を必要とする児童・生徒のためにおいて、神奈川のインクルーシブ教育について以下のように述べられています。神奈川のインクルーシブ教育とは、共生社会の実現に向け、すべての子どもが、できるだけ同じ場で共に学び共に育つ教育のことです。障がいの有無にかかわらず、女性も男性も、高齢者も若者も、すべての人がお互いの人権や尊厳を大切に、支え合い、誰もが生き生きとした人生を送ることができる社会を「共生社会」といいます。この「共生社会」の実現のために、神奈川のインクルーシブ教育に取り組むことになります。

注目される取組として、2024年3月29日には、神奈川県教育委員会が障害の有無に関わらず同じ地域の学校、同じ学級で子どもたちが共に学ぶ「フルインクルーシブ教育」を実現するため、海老名市教育委員会と連携協定を締結したことが発表されました。海老名市は「推進市町村」と指定され、課題の整理や普及活動などを行う予定です。神奈川県はフルインクルーシブ教育の推進に当たり、教育大綱に「誰ひとり取り残さない教育」を掲げる海老名市と方向性が一致し、連携を決定しました。

2024年4月24日Forbes Japanでは、神奈川県の黒岩知事の記事が、本音は特別支援学校をやめていきたい 神奈川県 黒岩知事が「ごちゃまぜを当たり前」したい理由という見出しで特集をされていました。

参照:本音は特別支援学校をやめていきたい 神奈川県 黒岩知事が「ごちゃまぜを当たり前に」したい理由 | Forbes JAPAN 公式サイト(フォーブス ジャパン)

インクルーシブという言葉は曖昧であり、人によって定義が異なりますが、私はインクルージョン研究者の野口 晃菜氏が提唱する以下の意味で使用しています。「多様な子どもがいることを前提として、その多様な子どもが地域の学校で学ぶ権利を保障するための教育システムを改革するプロセス」

野口 晃菜氏は、子どもはそもそも多様であることを前提とすること。そして、地域の学校で学ぶことを当然の権利として保障すること。そのためには、既存の教育システムの枠組み(教育内容、指導方法、組織体制など)を改革する必要があると述べています。

今回の勉強会で特筆すべきことを挙げます。神奈川県庁に入るとすぐに、共に学ぶというポスターが貼られていましたし(特別)支援教育の方針冊子は発達障害がある子供が描いた絵が表紙でした。ここだけをとっても、神奈川県が障がいの有無に関わらず全ての人が共に暮らせる県を目指しているのが強く伝わってきました。

津久井やまゆり園事件
この悲しみを力に
ともに生きる社会を実現します

津久井やまゆり園は、障害者支援施設であるが、施設内での虐待行為が明らかになり、社会の注目を集めた。この事件は、障害者に対する社会的偏見や差別意識を改めて考えるきっかけとなり、ともに生きる社会の実現に向けた動きが加速している。神奈川県では、この事件を契機として、障害者に対する社会的偏見や差別意識を改めて考えるきっかけとなり、ともに生きる社会の実現に向けた動きが加速している。

ともに
生きる

翔子

翔子「ともに生きる」
神奈川県立障害者支援施設 津久井やまゆり園

この事件は、障害者に対する社会的偏見や差別意識を改めて考えるきっかけとなり、ともに生きる社会の実現に向けた動きが加速している。

神奈川県では、この事件を契機として、障害者に対する社会的偏見や差別意識を改めて考えるきっかけとなり、ともに生きる社会の実現に向けた動きが加速している。

神奈川県では、この事件を契機として、障害者に対する社会的偏見や差別意識を改めて考えるきっかけとなり、ともに生きる社会の実現に向けた動きが加速している。

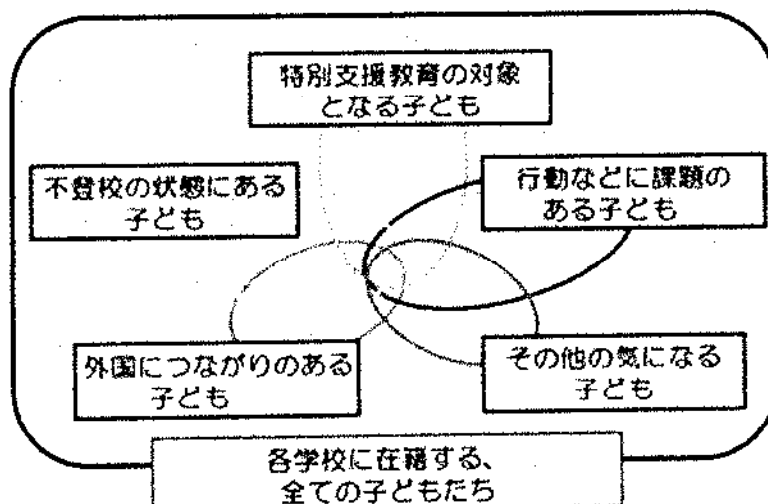
ともに生きる社会
かながわ憲章

私たちは、障害者を含むすべての人々が、
社会の中で生き生きと暮らす権利を認め、
ともに生きる社会を実現するために、
県民一人ひとりが、
障害者に対する社会的偏見や差別意識を改めて考えるきっかけとなり、
ともに生きる社会の実現に向けた動きが加速している。

神奈川県

また、「子どもたちは全員支援が必要な時、必要な場所があるので、支援級在籍の子だけではない。だから神奈川県では特別支援教育という言葉は使わず支援教育を使用している」と担当の方がおっしゃっていたのが印象的でした。

神奈川の支援教育



参照:P2. 支援を必要とする児童・生徒の教育のために教育相談コーディネータとチームづくり r3shiensassi.pdf (pen-kanagawa.ed.jp)

尼崎市に活かしたいことを2点あげます。1点目は、神奈川県内でのインクルーシブ教育実践推進校設置です。令和2年4月から、知的障がいのある生徒を対象とした、インクルーシブ教育実践推進校特別募集による入学者選抜を実施しています。

県立高校で
共に学びませんか

インクルーシブ教育実践推進校

神奈川県では、共生社会の実現に向けて、すべての子どもが安心して同じ場で共に学び、共に育つ環境づくりを目指して、インクルーシブ教育実践推進校を設置しています。

インクルーシブ教育実践推進校では、知的障がいのある生徒を対象に特別募集を行い、すべての生徒が高校で共に学ぶための取組を行っています。

特別募集は、令和6年度から15校となります。

お近くの学校については表欄をご覧ください。

様々な学びたこととして、学習に取り組めます。

お互いに理解し合いながら共に成長します

すべての生徒が、同じクラスで共に学びを過ごします

私たち一人ひとりの行動が、未来につながる。
SOG 未来都市 40周年

インクルーシブ教育実践推進校についてはこちら
https://www.pref.kanagawa.jp/shingi/2021/04/20210411_0001/

参照:インクルーシブ教育実践推進校 [inclusive 230324 OL](https://inclusive.230324.OL(pref.kanagawa.jp)) (pref.kanagawa.jp)

2点目は、神奈川県独自の教育相談コーディネーターです。神奈川県の教育相談コーディネーターは特別支援教育コーディネーターと同じ役割を果たしています。特別支援教育コーディネーターは、特別支援教育が学校教育法に位置づけられた平成19年4月に文部科学省から発出された「特別支援教育の推進について(通知)」に基づいて、国全体で「校務」として位置づけられています。学校長が、交渉力や人間関係調整力、本人、保護者、担任の相談に応じるカウンセリングマインドなど、求められる力を踏まえて、指名します。

尼崎市では特別支援教育コーディネーターになる知識を学ぶために、教員が校務外で、実費で大学に通っています。時間とお金の負担で、特別支援教育について学びたくても学べないという声も教員から聞きます。

神奈川県では、独自に講座を実施して公務で無料で受講できます。これにより、特別支援教育の知識を持った教員が県内に増え、神奈川県が掲げるフルインクルーシブな教育を実施しやすくなることは言うまでもありません。

若者の心と体の相談窓口について

日程:2024 年 4 月 25 日(水) 19 時～20 時

場所:東京都渋谷区 とうきょう若者ヘルスサポート(わかさぼ)

【概要】

「とうきょう若者ヘルスサポート(わかさぼ)」は 2023 年 11 月に始まり、東京都内に在住・在学・在勤の中学生以上の 10 代の方を対象にした施設です。看護師等の専門職が思春期特有の悩みに関する相談にのっています。具体的には、月経のこと、性感染症、妊娠、性器などに関する相談が多いと担当職員からお聞きしました。相談した若者のうち、避妊の失敗や性暴力による意図しない妊娠を防ぐ「緊急避妊薬」が必要な場合には、相談員が医療機関に同行もしています。

この取り組みはスウェーデン発祥で、1970 年代に始まり、現在は約 250 か所があるそうです。利用対象者は 13～23 歳で、医師や看護師に悩みを打ち明けたり、避妊具や生理用品を無料で受け取ったりできます。全国で広がりつつあり、実施主体は民間産婦人科医院や自治体などで、形態はさまざまです。家族や学校には話づらいことを安心して打ち明けられる「まちの保健室」のような場所です。

私のもとに、10代の予定外妊娠をされた方から相談を受けたことがありました。その際、産婦人科医に行くと保険証を使用する必要があり、それによって保護者に知られるのが嫌なので、病院に行けないという内容でした。この市では、10代の予定外妊娠の割合が他の市よりも高い状況です。尼崎市では、10代の中絶件数は、2020 年が 22 件、2021 年が 24 件です。出産の件数は、2020 年が 43 件、2021 年が 39 件となっています。毎年約 60 人の 10 代の妊娠が報告されています。私は、10 代の予定外妊娠をなくしたいという想いから、今回若者が体や心の相談をする場として「とうきょう若者ヘルスサポート」(わかさぼ)を視察しました。

東京都の取り組みで特筆すべき点を 2 点挙げます。1 点目は相談全般についてです。相談手段は 9 割電話、相談者の 4 割が中高生で、残りはそれ以上の年齢層であり、小学生の相談は滅多にないそうです。男性からの性に関する相談も多く、男性相談員の存在も重要だと担当の方がおっしゃっていました。相談電話には「いたずら」的なものも多く、対応に苦労しているそうです。LINE 相談の導入も検討中のようにです。

スマートフォンの情報が氾濫する中で、正しい情報が得られる有資格者が正確なアドバイスを提供する「とうきょう若者ヘルスサポート(わかさぽ)」のような場所は重要だと考えます。

ユース交流センターに、若年層が心身のことを相談できる「尼崎ユース保健室」が開設されていることです。あまがさきユース保健室以外にも、子ども・若者応援補助金に採択された女将ラボが行う「ヌック」、一般社団法人えんぐらぶが行う「尼崎ユースクリニック」があります。私も今後も、若年層が悩みを相談できるユースクリニックの普及に向けて努めます。

2点目は、東京都教育委員会が実施する、産婦人科医を学校医として任用し、高校生がヘルスケアに関する専門的な相談等ができる「都立高校等における産婦人科医を活用したユースヘルスケア事業」です。産婦人科医は、生徒が抱える思春期特有の様々な悩みに対して、養護教諭等と連携し、対面やオンラインにより個別相談を行います。尼崎市での導入を模索しています。顔の見える産婦人科医が校医になることで生徒も心や体の悩みを相談するハードルが下がると考えます。

諸外国におけるインクルーシブ教育について

日程:2024年4月26日(金) 10時~12時

場所:神奈川県横須賀市 独立行政法人 国立特別支援教育総合研究所

【概要】

独立行政法人国立特別支援教育総合研究所(NISE)は、昭和46年に設立された日本唯一の特別支援教育のナショナルセンターです。障がいのある子どもと障がいのない子どもが共に学ぶことを目指したインクルーシブ教育システムの構築に向けて、特別支援教育に関する研究活動や研修事業情報普及活動などを推進しています。

この施設では、学校教育の現場で活用できる支援教育の実践事例から、障害児の親が実生活で役立ちそうなアイデアまで、幅広い情報を提供しています。教員向けの泊まり込み研修や一般向けの施設見学だけでなく、インターネットを通じても研究成果を広く発信し、誰もが手軽に情報を得られるようになっています。

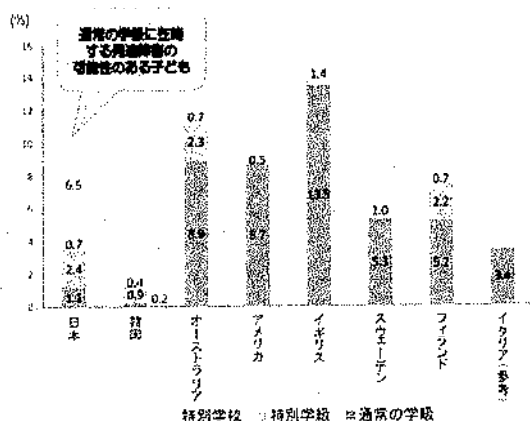
視察で特筆すべきことを書きます。同研究所には『発達障害教育推進センター』も併設されています。子どもたちのニーズに合わせた様々な教材や教具が展示され、体験することができました。同センターで紹介されていた教材は、公式ウェブサイトからも閲覧可能です。尼崎市でも実際に支援の必要な子ども向けの教材や教具に見て触れる場所があればと考え、令和8年に設置される学びの多様化学校でできないかを市の担当に提案しました。

同センターで紹介された教具で、私が注目したのはタブレットにダウンロード可能な外国語翻訳アプリです。このアプリを使用することで、日本語に不慣れな子どもたちでも全ての授業に参加できます。尼崎市では、日本語に不慣れな子どもたちへの言語サポートを行う支援員が十分でない状況です。この翻訳アプリを活用することで、その補完が可能だと考えます。

視察では諸外国におけるインクルーシブ教育の動向についても話がありました。お話の中で、諸外国のインクルーシブ教育の状況については、日本だけではなく、支援が必要な子は世界中で増えているとおっしゃっていました。日本で支援が必要な子が増えた背景としては、2005年に発達障害者支援法が施行され、自閉症、ADHD、LDなどが法律上で定義されたことが大きな転機となりました。学校現場でも、2007年に特別支援教育が始まり、通常の学級に在籍する発達障がいのある子どもたちへの支援が広がってきました。

独立行政法人国立特別支援教育総合研究所の活動は、特別支援教育の分野で重要な役割を果たしています。その情報提供や研究成果の普及は、教育現場における支援の充実につながり、障がいのある子どもたちがより良い教育環境で学ぶことを支援しています。

諸外国の各学びの場における
障害や特別な教育的ニーズのある子どもの割合



- 注1) 各国の教育省等の統計情報と本研究費より提供いただいた国際調査に関する報告書に基づいて作成しています。
- 注2) 韓国とイギリスは2019年、アメリカは2016年、オーストラリアとフィンランドは2018年、スウェーデンは2018・2019年、イタリアは2009年の統計情報に基づいています。
- 注3) 特別支援教育の子どもが対象です（ただし、アメリカは6歳～21歳の統計値、韓国は初等学校、中学校、高等学校の児童生徒の統計値です）。
- 注4) 日本は、文部科学省初等中等教育局特別支援教育課（2019）「特別支援教育概況（平成29年度）」を参考にしています。
- 注5) 「特別学校」「特別学級」は、日本ではそれぞれ「特別支援学校」「特別支援学級」に該当します。
- 注6) アメリカの特別学校の割合には、その他の学びの場（矯正施設や労働施設等）が含まれます。
- 注7) イギリスは、私立の初等学校、中学校、特別学校の統計値です。
- 注8) フィンランドは、基礎学校に付属されている職業前教育に就いている子どもの割合を指します。
- 注9) フィンランドの「特別支援教育」は、「一般支援」「強化支援」「特別支援」の3層から構成されています。本統計は、このうち「特別支援」を受けている子どものみを対象としています。
- 注10) 発達障害児や特別支援教育の位置付け等は、各国や各州によって異なる場合があります。

参照: 諸外国におけるインクルーシブ教育システムに関する動向
P3.inclusive_R01.pdf